

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 076	提案機関名 畜産技術センター
要望問題名 哺乳子牛を母牛から分離した際に使用する哺乳器具	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 肥育経営で繁殖部門を取り入れる場合、母子牛を同居させて哺乳などの労力を軽減する場合がある。しかし、母牛（繁殖雌牛）と一定期間同居していた子牛に哺乳する際、感触の違う器具から吸乳することを嫌う子牛がいる。ストレスを与えずにスムーズに器具での哺乳に移行させられれば、初期の発育を確保しながら経営効率を向上することができる。 そこで、哺乳子牛を母乳から分離する際に使用する哺乳器具の開発を願う。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ご指摘のとおり、母牛と一定期間同居していた子牛は、器具でのほ乳になれる時間が必要でスムーズな移行が必要だと考えられます。当所ではこの課題の解決策として、分娩後すぐに母子を分離して早い段階でほ乳器具に慣れさせる、または離乳まで2ヵ月ほど母牛に付ける方法で完全離乳する手法で対応しております。ほ乳器具の開発をご要望ですが、すでにほ乳器具は市場で数多く販売されていることから、適宜状況を把握して情報提供していきたいと思っております。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			